

平成 30 年度境港市地域福祉計画（第 3 期）策定・評価委員会 会議録

■ 日 時 平成 31 年 3 月 28 日（木） 午後 1 時 58 分～午後 3 時 10 分

■ 場 所 境港市保健相談センター 2 階 研修室

■ 次 第

1 開会

2 辞令交付

3 あいさつ

4 委員長、副委員長の選任

5 議事

（1）境港市地域福祉計画（第 3 期）の取組状況等について

（2）その他

6 その他

7 閉会

■ 出席者（敬称略）

（委員）松下弘美、保坂史子、高木敏行、前田忠彦、三好伸作、永井俊、
川口昭一、松下秀子、佐々木健雄、渡邊冬樹

（事務局）佐々木真美子（福祉保健部長）、坂田卓宏（長寿社会課長）、
武良収（健康推進課長）、小川博史（子育て支援課長）、
大道幸祐（福祉課長）、山根幸裕（福祉課主査）

（欠席者）門脇哲也、植田建造

（傍聴者）なし

■ 会議要旨

1 開会（1 時 58 分）

2 辞令交付

【事務局】

定刻より前ですが、みなさんおそろいですので、ただいまから平成 30 年度境港市地域福祉計画策定・評価委員会を開会します。本来ですと事前に委嘱辞令をお渡ししたうえで会議を招集させていただくところですが、この場での机上での交付とさせていただきます。

3 あいさつ

（福祉保健部長あいさつ）

【事務局】

本委員会は、従来の地域福祉計画策定委員会に進捗状況の管理と評価を行う機能を加えて、「地域福祉計画策定・評価委員会」として、改正したものです。初めての会ですので、これより、委員の皆様のご紹介をさせていただきます。

(名簿順に読み上げる)

なお、本日は、委員12名中10名の出席で、過半数の出席をいただいておりますので、境港市地域福祉計画策定・評価委員会設置要綱第6条の2項により、この会は成立しております。また、新たに、若年層の委員として、境港青年会議所の渡邊理事長に加わっていただきました。皆様の委員任期につきましては本日から平成34年3月31日までといたしております。

4 委員長、副委員長の選任

事務局一任との声多数。委員長に境港市社会福祉協議会会長の高木敏行委員を提案し、全会一致で賛成。また、副委員長には境港市自治連合会会長の三好伸作委員が指名された。

(委員長、副委員長それぞれあいさつ)

【事務局】

それでは、これからは委員長さんのほうに議事進行をお願いします。

5 議事

【委員長】

議事に入ります。1番の「境港市地域福祉計画（第3期）の取組状況等について」を、事務局から、説明をお願いします。

(資料3について事務局説明)

【委員長】

ただいまの説明のところで、ご意見、ご質問はありませんか。

【委員】

ボランティアポイント制度についてどのようなものか具体的に説明をお願いします。

【長寿社会課長】

高齢者が介護施設などで行う活動に対して、ポイントをつけて、高齢者自身の社会参加と併せて自身の介護予防を促進するというものです。ポイントについては1時間のボランティアで1ポイントとし、1日2ポイントまでとし、1ポイント100円で年間上限5000円までで換金できるものとしています。

【委員】

フレイル予防は重要。フレイルサポーターの養成講座は引き続いて積極的に行ってほしい。

【委員】

子育て世代への取組み、子どもへの支援、こども食堂とかこどもの貧困対策、虐待防止などしっかりお願いしたい。

【福祉課長】

こども食堂の市内での取組みについては、済生会が老健施設はまかぜで、毎月1回土曜日の午前から昼にかけて、いわゆる困窮世帯の小学生の児童に対して実施されている。また幸朋苑において昼食を提供しながら学習支援事業を実施している。また、資料3の6ページに記載していますが、自死対策のいのちとこころのプロジェクトから派生した、子どもの居場所づくり、悩みでもなんでも話しができる場所を「ひみつきち」と称して、いくつかの地区で定期的に開催されています。

【委員】

子どもたちだけでなく家族支援もすごく大切である。親に対する支援も。子育てでのSOSをはやくキャッチできるように、関係機関の横のつながり・連携が大事だと思います。

【子育て支援課長】

地域子育て支援センターの項は、平成30年度にスタートした訪問支援の実績がのびておらず自己評価としてはBとしたところ。次年度以降も引き続き努力していきます。

【委員】

地域包括支援センターの利用実績がかなり伸びているようであるが。

【福祉保健部長】

とりわけ要支援が伸びています。要支援という介護の必要性の軽いうちから介護予防の意識づけを行っていくことが大切と考えています。

【委員】

資料について、事業の実施状況についてはもう少し具体的に記したものをお願いしたい。また、災害時のことは重要、地震や津波などもだが特に原発。

防災的なことももう少し具体的な視点で取り組んでいただきたい。

【福祉課長】

今回の資料としては、評価初年度ということもあり、各目標の総合評価的に大きく捉えて作成しました。次回以降については具体的な内容をもう少し工夫したいと思います。災害時要支援については、支え愛マップづくりをとおした地域づくりということもひとつの意味合いであり、防災の視点から各地域で実施していただけるように継続して支援していきます。

【委員】

平常時の見守りというものが非常に重要と考えるところである。上道地区では、除雪等の見守り体制をとっているが、自治会の役割は重要。また、要援護者の情報や資料などをどのように整理活用するか。民生委員だけでは難しい。最終的には自治会が様々な場面で音頭を取っていかなければならないでしょう。

【副委員長】

最終的には自治会が動かないとできないことである。その自治会だが、自治会組織の担い手・リーダーがいない。人材不足が悩みである。

【委員】

支え愛マップ作りの中で障がい児などの存在を地域の中で分かってもらっているか、いかに認知してもらっているかが問題と感じています。特に軽度の人とか発達障がいとか。

【福祉保健部長】

ある地域では顔の見える関係づくりのために、地域のクリスマス会に防災視点を取り入れたことを実施されている。いろいろなよい取り組み事例を地域に紹介するなどを行っていきます。

【委員長】

続いて、議事の（２）その他について事務局のほうで何かありますか。

（特になし）

6 その他

【委員長】

では、議事を終了して、その6番のその他について、ありますか。

【事務局】

来年度の本委員会の会合は、秋ごろをめどに予定したいと考えています。ど

うぞよろしくお願ひします。

7 閉会

【委員長】

以上で、会議を終了いたします。本日はお疲れさまでした。任期終了まで、どうぞよろしくお願ひします。ありがとうございました。

終了 午後3時10分

※配布資料

資料

- 資料1 境港市地域福祉計画策定・評価委員会設置要綱
- 資料2 境港市地域福祉計画策定・評価委員会委員名簿
- 資料3 境港市地域福祉計画（第3期）の取組状況等について